

第16回広島県ろうあ者文化活動研修会

広島上映「長州ファイブ」日本語字幕付のご案内

2007年11月10日(土) PM17:30~20:30 (開場PM17:20)

スケジュール PM17:30 挨拶

PM17:50 上映

PM20:00 「長州ファイブ」製作委員長

前田登氏 講演



■入場料

(社)広島県ろうあ連盟会員 前売券 555円 当日券 700円

上記会員以外大人(中学生以上) 前売券 800円 当日券 1000円

小学4年生~6年生 前売券 300円 当日券 500円

※小学3年生以下のご入場はご遠慮お願いします。

■会場 広島市南区民文化センター(スタジオ)

広島市南区比治山本町16番27号 <http://www.cf.city.hiroshima.jp/minami-es/>

聾盲啞教育の父



山尾庸三(やまおようぞう)

1837年生まれ。グラスゴーで造船を学び、明治4年に工学寮(のちの東京大学工学部)を創立。日本工学の父となる。また、日本初の盲啞学校を設立。

聾盲啞教育の父でもある。

幕末の世、日本の未来のために刀を捨てた、サムライがいた。

尊皇攘夷の気運が高まる幕末、外国を排斥するだけでは何も変えられないと敢えて敵を知る道を選んだ若き長州藩士、山尾庸三、野村弥吉(井上勝)、志道聞多(井上馨)、伊藤俊輔(伊藤博文)、遠藤謹助の5人は、死罪も覚悟で英国へ密航する。ロンドンで英語を会得しつつ大学で学び、それぞれが興味のある分野の技術や知識を貪欲に吸収していく。やがて、造船技術を学ぶため単身グラスゴーに向かった山尾は、手話を駆使して働くエミリーと出会うのだった・・

200年以上鎖国を続けてきた日本から、広い世界へ飛び出した若者たち。前例のない試みに果敢にチャレンジしてこそ道は開けるのだと身をもって証明した先駆者たちだ。教育、政治、産業と後に近代日本の基盤をつくった彼らを英国の新聞は「長州ファイブ」と呼んだという。5人を受け入れる英国側の度量の大きさにも感心するが、礼儀正しく向学心に富み勤勉でなおかつ物怖じしない彼らの姿には人の心を打つ美しさがある。『地雷を踏んだらサヨウナラ』『アダン』など常に実在の人物を生き生きと描いてきた五十嵐匠監督の演出は、松田龍平演じる山尾庸三に焦点を当てた後半に冴えを見せる。気骨ある男たちを体現した5人の俳優も好演。2007年4月第40回ヒューストン国際映画祭でレミアワードグランプリ(最優秀賞)受賞。(2006年作品・119分)



映画「長州ファイブ」製作委員長 前田登氏 プロフィール

昭和22年山口県生まれ

中央大学法学部卒

趣味：マラソン・音楽鑑賞

前田海産(株) 代表取締役社長

(株) グローカル・ピクチャーズ代表取締役社長兼映画プロデューサー

映画「長州ファイブ」では、総指揮の立場から映画づくりを支えた。

長州ファイブの一人、遠藤謹助役、前田倫良(のりよし)は二男

チケット販売所のご案内

・(社)広島県ろうあ連盟事務所 FAX082-252-0309

・(社)広島県ろうあ連盟文化部 大本浩士 FAX082-881-3890/陶山健一 FAX082-889-3744

◎購入希望の方は購入希望枚数・氏名・住所・FAXNoを記名の上、上記の所へFAXして下さい。

問い合わせ先

(社)広島県ろうあ連盟 FAX 082-252-0309

Email : hrren@do3.enjoy.ne.jp